

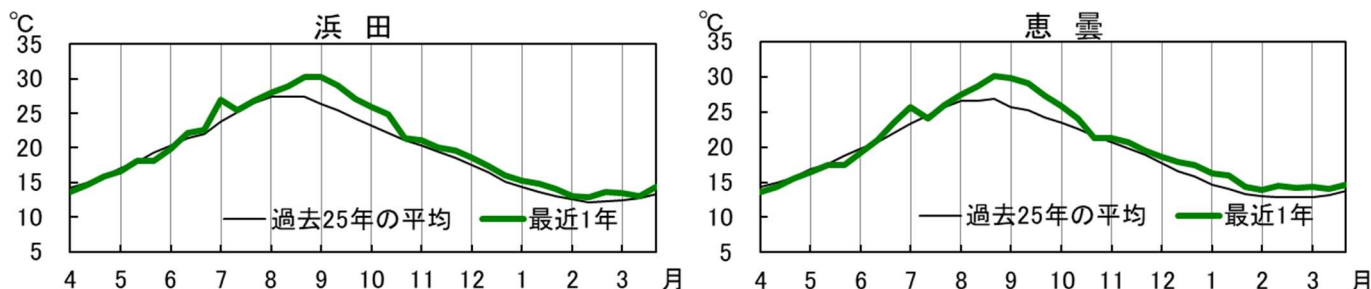


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《3月の海況》



3月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	かなり高め	13.6℃	+0.8℃	はなはだ高め	14.4℃	+1.1℃
中旬	平年並み			やや高め		
下旬	やや高め			やや高め		



《3月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区では統計上漁獲がありませんでした。隠岐地区ではマイワシ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は123トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、マイワシは10,332トンで平年の1.1倍、前年の1.2倍、サバ類は474トンで平年の1.2倍、前年の4.6倍、マアジは36トンで平年の2割でした。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）、西郷地区（属人5トン以上）ともに漁獲がありませんでした。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではキダイ、ケンサキイカ、マダイを主体に、1統1航海当りの漁獲量は13.9トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、キダイは平年の1.4倍、ケンサキイカは平年の1.3倍、マダイは平年の2.0倍でした。その他、スズキは平年の4.3倍、ヒラメは平年の2.2倍、マフグは平年の1.4倍、マアジは平年の1.1倍と好調でしたが、アナゴ・ハモ類は平年の7割、エソ類は平年の6割、カワハギ類は平年の3割の水揚げでした。

【小型底びき網漁業】

大田地区（和江・久手）ではソウハチ、ニギス、アカガレイ主体の漁況で、総漁獲量は275トンでした。1統1航海当りの漁獲量は787kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、ソウハチは平年の1.2倍、ニギスは平年の3.9倍、アカガレイは平年の8割でした。その他、マフグは平年の1.6倍、ヤナギムシガレイは平年の1.3倍、アカムツは平年の1.2倍、アンコウ類は平年の1.0倍、アナゴ・ハモ類は平年の7割、キダイは平年の6割、ヒレグロは平年の4割の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではマイワシ、サバ類、マアジ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は47.0トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量は、サバ類は平年の18倍、マアジは平年の26倍でしたが、マイワシは平年の9割でした。石見地区ではサバ類、マイワシ、マアジ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は31.9トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量は、マイワシは平年の1.1倍、サバ類は平年の35倍、マアジは平年の9.2倍でした。隠岐地区ではマイワシ、マアジ、サバ類主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は23.9トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量は、マイワシは平年の3.7倍、マアジは平年の5.4倍、サバ類は平年の2.1倍でした。

【釣り・縄】

出雲地区ではブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は44.3kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量は、ブリは平年の1.9倍でした。石見地区ではヒラマサ、アマダイ類、ブリ、カサゴ・メバル類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は19.8kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、ヒラマサおよびアマダイ類は平年の1.0倍、ブリは平年の8割、カサゴ・メバル類は平年の1.1倍でした。隠岐地区ではブリ、メダイ、カサゴ・メバル類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は25.6kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、ブリは平年の1.1倍、メダイは平年の4.6倍、カサゴ・メバル類は平年の8割でした。

【令和8年3月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	—	—	—	—	—	—	—
	隠岐	マイワシ	10,844トン	120%	104%	123トン	98%	103%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	—	—	—	—	—	—	—
	西郷	—	—	—	—	—	—	—
沖合 底びき網	浜田	キダイ、ケンサキイカ、マダイ	181トン	89%	86%	13.9トン	117%	103%
小型 底びき網	大田	ソウハチ、ニギス、アカガレイ	275トン	142%	98%	787 kg	88%	92%
定置網 (大型)	出雲	マイワシ、サバ類、マアジ	611トン	136%	190%	47.0トン	126%	163%
	石見	サバ類、マイワシ、マアジ	95.8トン	132%	246%	31.9トン	132%	246%
	隠岐	マイワシ、マアジ、サバ類	47.7トン	85%	137%	23.9トン	85%	146%
釣り・縄	出雲	ブリ	46.0トン	304%	141%	44.3kg	191%	129%
	石見	ヒラマサ、アマダイ類、ブリ、カサゴ・メバル類	16.7トン	105%	82%	19.8kg	72%	80%
	隠岐	ブリ、メダイ、カサゴ・メバル類	18.8トン	118%	100%	25.6kg	91%	101%

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ〇〇」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ

「かなり〇〇」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ

「やや〇〇」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ

「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ